

アニメタデータ ANIMETADATA

—アニメなどのメタデータを語る—

Vol. 5



みんな大好き〇〇大全

ばびぶべぼ研究室

目次

第 1 話	アニメ大全とは何だったのか	3
1.1	はじめに	3
1.2	公開までの経緯：アニメ NEXT_100	4
1.3	今後の運用：助成金	5
1.4	公開 Web サイト	6
1.5	メタデータスキーマ	7
第 2 話	アニメ大全のデータ登録の状況	9
2.1	概要	9
2.2	網羅率	10
2.3	情報源	14

第 1 話

アニメ大全とは何だったのか

1.1 はじめに

一般社団法人日本動画協会は 2022 年 8 月 25 日に「アニメ大全」*¹を一般公開した。「日本のアニメ総合データベース」を謳っており、アニメーション文化の研究者からアニメファンに至るまで、幅広いユーザの利活用を目指すとしている*²。

公開当初はアクセスが殺到し、まともにページが閲覧できないほど注目を集めていた（あまりに負荷に弱いシステム構成の問題もあったと推察するが……）。落ち着いてきたと思えば、次第に Twitter(現 X) などでアニメ大全のデータについて様々な指摘が見られるようになった。簡単に分類すると、以下のような指摘が目立った。なお、2023 年 8 月現在ではすでに修正・改善されている箇所もある。

- 採録対象への疑問：ある作品が記録されていないのはなぜか
- 記録内容の誤り
- 記録内容の乏しさ（他のサイト等と比べて）
- 情報源に関する指摘
 - 出典が明記されていない
 - Wikipedia と同一性の高い記述がある

これらの個別の例を取り立てて議論することはあまり建設的ではないと思われるため、本書では、事業の背景や公開データを計量的に観察し、データベース事業としてのアニメ大全を俯瞰することを目的としたい。

*¹ <https://animedb.jp/>

*² 日本のアニメ総合データベース「アニメ大全」 | このサイトについて
<https://animedb.jp/about>

1.2 公開までの経緯：アニメ NEXT_100

『アニメ NEXT_100』プロジェクトと日本のアニメ総合データベース「日本のアニメ大全」の歩み^{*3}という資料に年表形式でアニメ大全公開までの経緯が説明されている。2015年に日本のアニメ100周年記念事業「アニメ NEXT_100」の中核事業として位置づけられ、2016年3月にプロジェクト開始が一般に公開された。私も Anime Japan で発表を見に行った記憶がある、

一方で、その背景として『『アニメ大全』掲載対象作品の定義^{*4}』に記載されている構築経緯にも着目しておきたい。

- 草稿：2011年7月11日 平成23年文化庁報告書添付資料1
日本のアニメーションデータベース対象作品定義（案）
メディア芸術デジタルアーカイブアニメーション分野 データベース対象作品の定義（案）
編集者一同

これは2010年～2014年の5カ年にわたり実施された文化庁の「メディア芸術デジタルアーカイブ事業」での話である。この事業内で提案された「データベース対象作品の定義（案）」をベースに、アニメ大全の対象作品の定義が作られたようである。公開サイトを見ていると、対象作品の定義のみならず、メタデータスキーマなどにもこの事業成果の内容が色濃く残っている（具体的には後述する）。

余談であるが、報告書^{*5}には情報源を明示する重要性を説明する以下のような一文があるが、これがアニメ大全では生かされなかったことは大変残念である。

一般公開を前提としている本年度事業の日本のアニメーションデータベースに関して、現時点における「日本のアニメーションデータベース対象作品定義（案）」（別添資料-1）が提案された。その際、データベース構築に協力した会社、組織、個人、出典等については、すべて協力者としての名前をデータベースの情報出典・編集協力者同様に列挙することにより、データベースの信頼性と公式感を醸成することも重要であることが確認された。

様々な情報元のデータが無秩序に混入しているようなコンタミネーションの発生は、著作物のメタデータを扱うデータベース事業にとって致命的である。

^{*3} <https://animedb.jp/wp-content/uploads/2022/09/「アニメ大全」の歩み.pdf>

^{*4} <https://animedb.jp/about>

^{*5} 平成23年度「メディア芸術デジタルアーカイブ事業」委託業務成果報告書
<https://macc.bunka.go.jp/wp-content/uploads/2023/01/8ccc61e694ad1c90493efc2f0dcaa9b6.pdf>

1.3 今後の運用：助成金

2022年度からは一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会 (SARTRAS) の「著作権及び著作隣接権の保護に関する事業並びに著作物の創作の振興及び普及に資する事業」(共通目的事業)の助成を受けている。2022年度に3,000万円、2023年度に2,000万円と、2事業年度に渡って総額5,000万円の助成が決定されている。なお、この金額は共通目的事業の1事業当たりの最大限度額である*⁶。

事業概要には

「アニメ大全」はアニメ産業、及びアニメ文化の基盤を歴史的に網羅することによって過去・現在・未来へとアニメの力を繋ぐデータベースとして構築している。本事業の目的は、データの拡充を行うことにより、アニメーション分野に関わる権利者全体の著作物の創作の振興、及び普及を実現し、教育機関における活用促進、及び著作権思想の普及の一翼を担う、著作物総合データベースを構築することである。

実施期間：2022年10月～2023年9月

と記載がある。

2022年度の事業報告には以下のような記載があり、事業評価はA/B/C三段階のうちBとされている。*⁷

1) 著作物総合データベースモデルデータ構築

作品情報データベースと連携した権利者情報モデルについてプロジェクトチームが基本案を示し、専門家及び有識者の意見交換を重ねた。その際に、他権利情報データベース等参考としながら、メタ項目の設定を行った。

2) 新規調査 3) 新規データ拡充

2023年3月31日までに公開された新作及び過去に公開された作品情報の拡充、アニメ関連企業の名称履歴や会社情報の調査を行った。

4) 著作権情報等対応システム構築

上記1)のメタ項目に対応する入力フォーム及びデータ蓄積、バックアップシステムの構築を行った。運用に合わせ有識者による入力テストを実施。

「(2) 新規調査」とあるように、サイト上でも新作の作品情報が継続的に公開されており、メタデータ作成の運用が継続されていることがわかる。権利情報の拡充も推進し

*⁶ 2022年度共通目的事業・助成事業一覧(第2次募集分)。2022年11月30日
https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/kyotsumokuteki_joseiichiran202202.pdf

*⁷ 2022年度共通目的事業 実施事業一覧。2023年6月15日
https://sartras.or.jp/wp-content/uploads/kyotsumokuteki_jissijigoichiran2022.pdf

ているようだが、日本動画協会はかつて「Anime Chara DB」*⁸というアニメキャラクターの権利情報を検索できるデータベースを運用していたこともあった（2023年1月27日公開終了）。業界に資するデータベースの機能として、やはり権利情報の整備は必須という考えなのだろう。

1.4 公開 Web サイト

アニメ大全の Web サイトは、ページのソースコードやレスポンスヘッダ等から判断する限り WordPress をベースに作られている。公開当初は、国内大手某ホスティング事業者のサーバ IP アドレスが観察できていたが、当日の夜には CDN として Cloudflare が導入されていた。

サイトの構造として、`animedb.jp` ドメインはポータルサイト的な位置づけであり、アニメ関連のプレスリリースを公開しているのが主な機能である。アニメ大全のデータは `db.animedb.jp` ドメインの Web ページで公開されている。作品ページの URL には `https://db.animedb.jp/index.php/searchdata/?mode=view&id=<作品 ID>`

という URL が与えられており、クエリ文字列の `id` パラメータで作品が識別されている。作品 ID は 5 桁または 6 桁の数字で表される。

`db.animedb.jp` 下の Web ページには

```
<meta name="robots" content="noindex,_nofollow" />
```

という meta タグの記述があり、検索エンジンによるインデクシングをすべて拒否している状態である。基本的に Google などの検索結果からアニメ大全の作品ページにたどり着くことはできず、利用者にとっては不便である。なぜこのような設定をしているのか目的は不明だが、利用規約から強い権利主張の文言が見られるように、権利保護の実現としてこのような手段を取っている可能性がある。

また、「よくある質問」ページには*⁹

3.1 API の開放、オープンソース化、GitHub へのアップロードなどは有りますか？
現在、予定しておりません。

という Q&A があり、機械可読なメタデータの公開やその手段の提供は計画されていないようである。

*⁸ <http://animecharadb.jp/>

*⁹ <https://animedb.jp/faq>

表 1.1 基本情報定義（一部抜粋）

	項目	基本定義
タイトル	タイトル	OP・EDクレジットの記載内容に準ず。
	読み仮名	本編中（含・次回予告）で呼称されている読みを判断基準とする。
	名寄せ（ルビ・通称）	原則として、特殊な読み方をするものに限定して記載する。
	英字表記（国内・海外）	現在は各社提供の英字表記とする。

1.5 メタデータスキーマ

よくある質問ページから「メタ項目・定義」*¹⁰という文書が公開されている。

「基本情報定義」と「詳細情報定義」という 2 レベルに分けてメタデータ項目とそれに対する定義文らしきものが記述されている（表 1.1）。しかし、ほとんどの項目については定義ではなく、どのようにメタデータを作成するのかを端的に説明した目録規則っぽい説明が書かれている。なお、この項目定義はメディア芸術デジタルアーカイブ事業で提案していた定義とほとんど同じある（図 1.1*¹¹）。アニメ大全の対象作品の定義は同事業での検討結果をベースにしていると述べたが、メタデータ項目とその定義も踏襲していることになる。定義と言っても目録規則に近いものであるので、メタデータ作成のプロセスも同事業とかなり似た体制で構築されているのではないかと推察できる。

また、この項目定義の文書に記載されている項目のすべてが Web ページ上で表示されているわけではないようだ。例えば、「ガルパン」とキーワードで検索すると、『ガールズ&パンツァー』シリーズの作品群がヒットするのだが、個別の作品ページ内に「ガルパン」という文字列は見当たらない。恐らく「名寄せ（ルビ・通称）」という項目に入力されており、非表示だが検索対象としている項目が存在するものと思われる。

*¹⁰ アニメ大全 メタ定義

https://animedb.jp/wp-content/uploads/2022/09/アニメ大全_メタ定義.pdf

ちなみに、この PDF ファイルのメタデータ (document information dictionary) には author として株式会社アーイメージ取締役の檜山大悟氏の名前がある。

*¹¹ 平成 23 年度「メディア芸術デジタルアーカイブ事業」委託業務成果報告書

<https://macc.bunka.go.jp/wp-content/uploads/2023/01/8ccc61e694ad1c90493efc2f0dcaa9b6.pdf>

		項目	基本定義	補足・付帯関連事項
基本情報	タイトル	タイトル	OP・EDクレジットの記載内容に準ず。又は他の信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。	
		読み仮名	OP・EDクレジットの記載内容で本編中(含・次回予告)で呼称されている読みを判断基準とする。又は他の信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。	
		名寄せ (名寄・ルビ・通称)	原則として、特殊な読み方をするものに限定して記載する。その際、本編中(含・次回予告)で呼称されている読みを判断基準とする。 読みの短縮・略語・別称等の記載 検索用に特殊記号を抜かしたタイトル表記	
	メディア	劇場 (短編・長編)	初出を基本優先とする。但し、「テレビ作品の先行公開」または「ビデオ作品の先行公開」と銘打たれている場合は、該当する別メディアを優先する。	付帯事項追加 ビデオ化された際の画面に「映倫」マークが焼き込まれているものは、仮にビデオ版が先行している場合でも「劇場作品」として扱う。OVAのパッケージに「劇場作品」と記載されているものは、その表記の妥当性を吟味した上で「劇場作品」として扱う。
		TV	初出を基本優先とする。又は他の信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。	
		TV-S(スペシャル)	単体作品の場合は初出を基本優先とする。但し、同時期に放映中のテレビシリーズから派生した作品である場合は、独立作品としては扱わず、シリーズの一部に含める。	
		OVA	初出を基本優先とする。又は他の信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。	
		etc (イベント・WEB・自主映像・他)	他メディアに分類しきれない作品を記載する。又は他の信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。	
	初出関連 (放送期間含む)	公開日(劇場)	国内で最初のロードショー公開日とする。映画祭における先行公開などは別途明記する。	
		放送開始年月日(TV)	放送キー局の初回放送日とする。放送キー局がない場合は、全国にて一番早い放送開始日に従う。	
放送終了年月日(TV)		放送キー局の放送終了日とする。	付帯事項: TVシリーズは、再放送分は入れておらず、新作の最終放映日を基準としている。キー局以外での未放映を放送した際は別途記載する。	
発売日(OVA)		初出メディアを明記し、その発売日とする。但し、レンタル先行等の場合はその事実を明記する。		
制作関連	制作 「製作」「制作」 「アニメーション制作」 など	OP・EDクレジットの記載内容に準ず。又は他の信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。	原則として、シリーズを括弧して「製作」「制作」「アニメーション制作」などのクレジットに表示されている会社名を上位のものから順に記載する。「制作協力」と記載された会社名は原則として扱わない。	
放送局 (上映会・イベント詳細等)		OP・EDの「製作委員会」「製作」「制作」などのクレジット中に放送局名が記載されている場合は、これをキー局と見なす。		
発売元		OP・EDクレジットの記載内容に準ず。又は他の信頼する資料に準じ、その資料を別途明記する。		
販売元		OP・EDクレジットの記載内容に準ず。又は他の信頼する資料に準じ、その資料を別途明記する。		
配給会社		OP・EDクレジットの記載内容に準ず。又は他の信頼する資料に準じ、その資料を別途明記する。		
放送回数(話数)		本放送時の放送話数に準ず。		
分数		信頼する資料に準じ、その資料を別途明記する。	付帯事項: ●TV作品は、放送時の分数を元とする。 ●劇場作品は、パンフレットや配給会社の情報を元とする。 ●OVAはパッケージ記載分数を情報の元とする。(特典映像はオリジナルアニメーションの場合別作品とし、実写映像や編集作品は記載しないものとする。)	
タイトル	英字表記	信頼する資料に準じ、その資料は別途明記する。		

図 1.1 平成 23 年度 メディア芸術デジタルアーカイブ事業委託業務成果報告書
表 7【基本データの項目別定義】

第2話

アニメ大全のデータ登録の状況

本章で扱うデータは、2023年8月1日～11日の期間に取得したデータである。総作品数は13,092件。

2.1 概要

まずは概要として公開メディアごとの作品数を表2.1に示す。公開メディアは作品に対して最大1つ記録されている。

表2.1 公開メディアと作品数

公開メディア	作品数
TV アニメシリーズ	6681
劇場	2731
OVA	2520
WEB	441
TV スペシャル	300
(NULL)	270
イベント	93
自主制作	35
その他	21

原作メディアごとの作品数を表2.2に示す。原作メディアも同じく作品に対して最大1つ記録されている。

表 2.2 原作メディアと作品数

原作メディア	作品数
漫画	4258
アニメオリジナル	3924
その他	1281
ゲーム	839
ライトノベル	651
小説	565
キャラクター	446
(NULL)	214
18 禁ゲーム	188
絵本	181
おもちゃ	124
童話	119
カードゲーム	107
伝承文学	65
実写	53
伝記・自伝	41
特撮	34
紙芝居	2

2.2 網羅率

公開メディア毎の基本情報の各項目の網羅率を図 2.1 と図 2.2 に、詳細情報の網羅率を図 2.4 と図 2.5 に示す。網羅率とは、2.1 の作品数を分母とし、項目に何らかの値が入力されている作品の割合である（「0000 年」のような実質的には無効な値が入力されていることもあり、こうしたパターンを完全に除外できていない可能性はある）。公開メディアが記録されていない、またはイベント、自主制作、その他、アニメオリジナルについては作品数が少ないため省略する。

何らかの詳細情報が入力されている作品は図 2.3 に示す通り全体の 53% であり、47% は基本情報しか入力されていない。

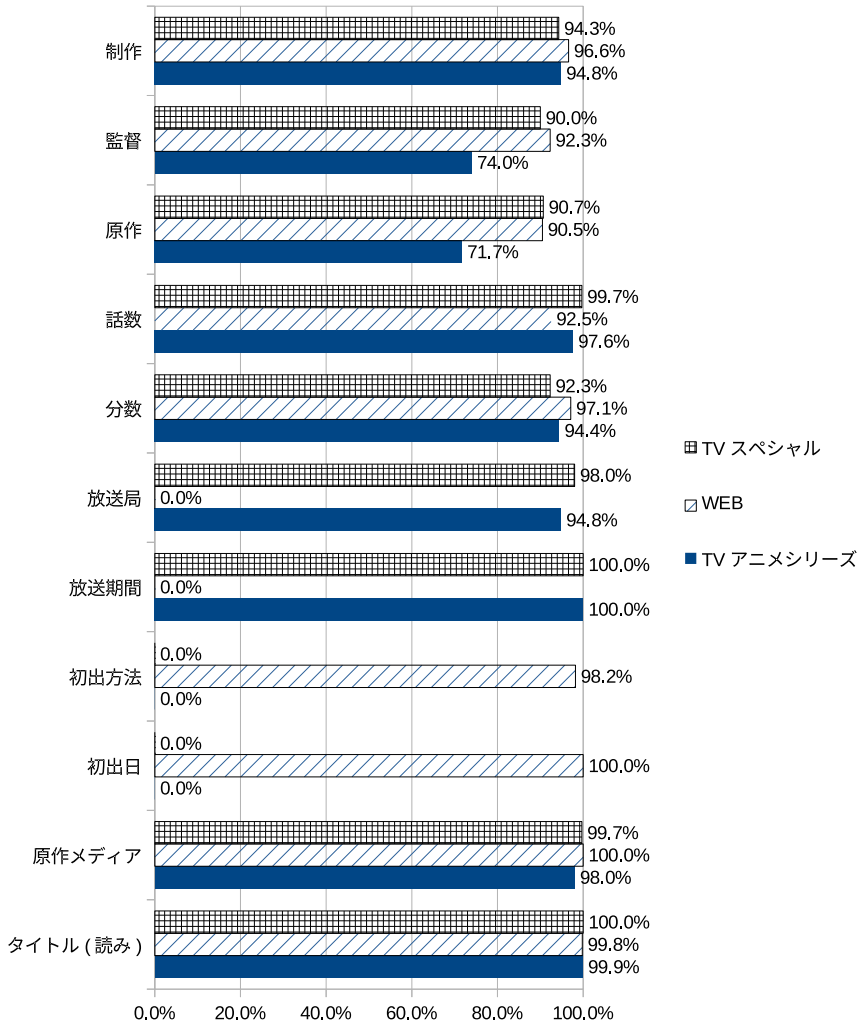


図 2.1 TV スペシャル/WEB/TV アニメシリーズの基本情報各項目の網羅率

※初出方法、初出日はWEBのみ記録される

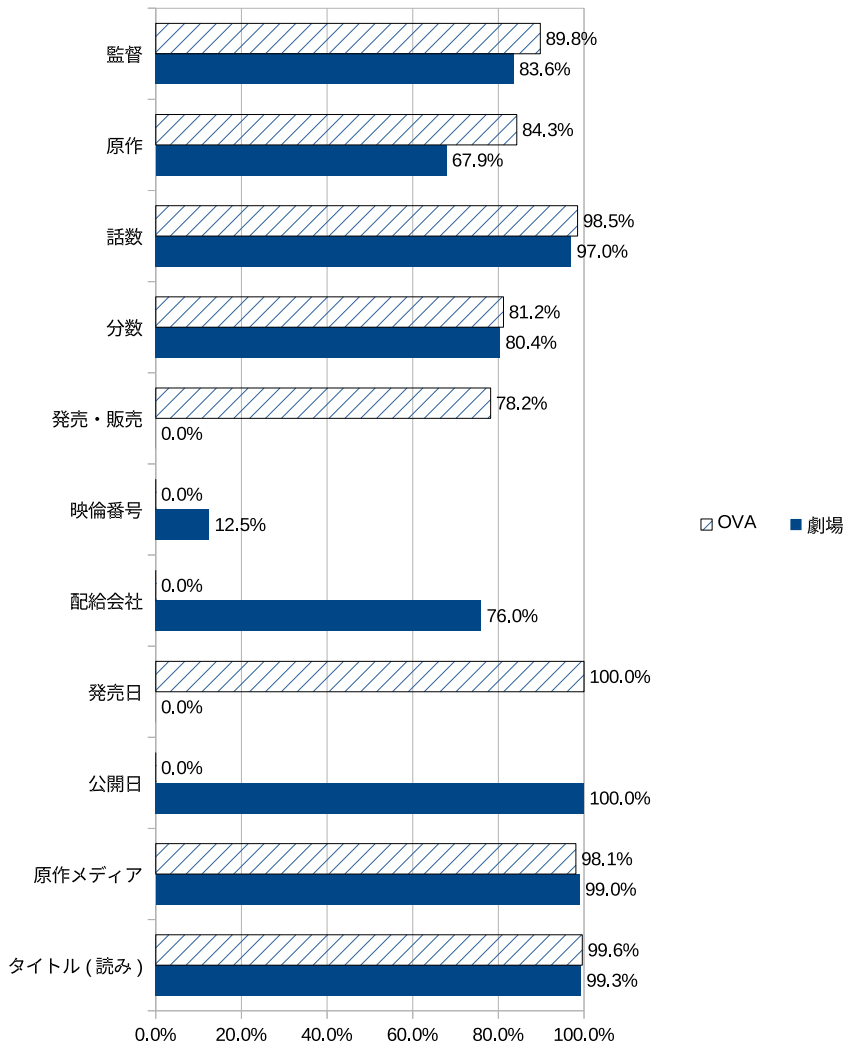


図 2.2 OVA/劇場の基本情報各項目の網羅率

※映倫番号、配給会社、公開日は劇場のみ、発売・販売および発売日はOVAのみ記録される

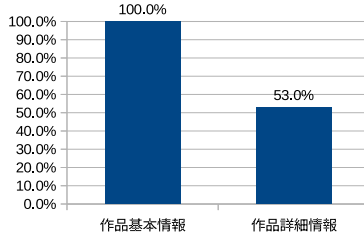


図 2.3 基本情報と詳細情報の網羅率

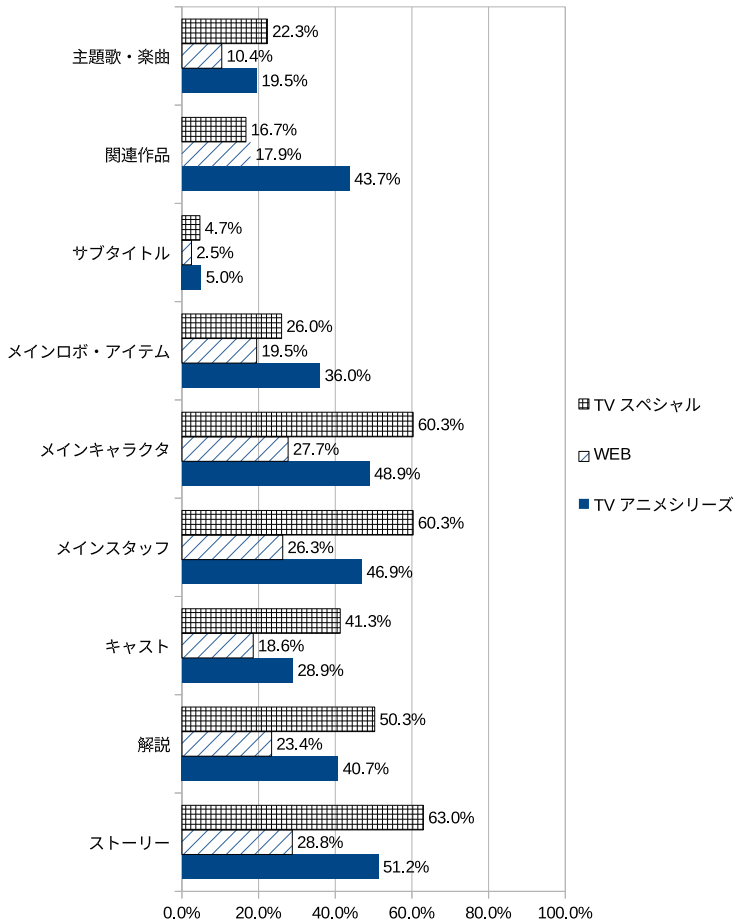


図 2.4 TV スペシャル/WEB/TV アニメシリーズの詳細情報各項目の網羅率

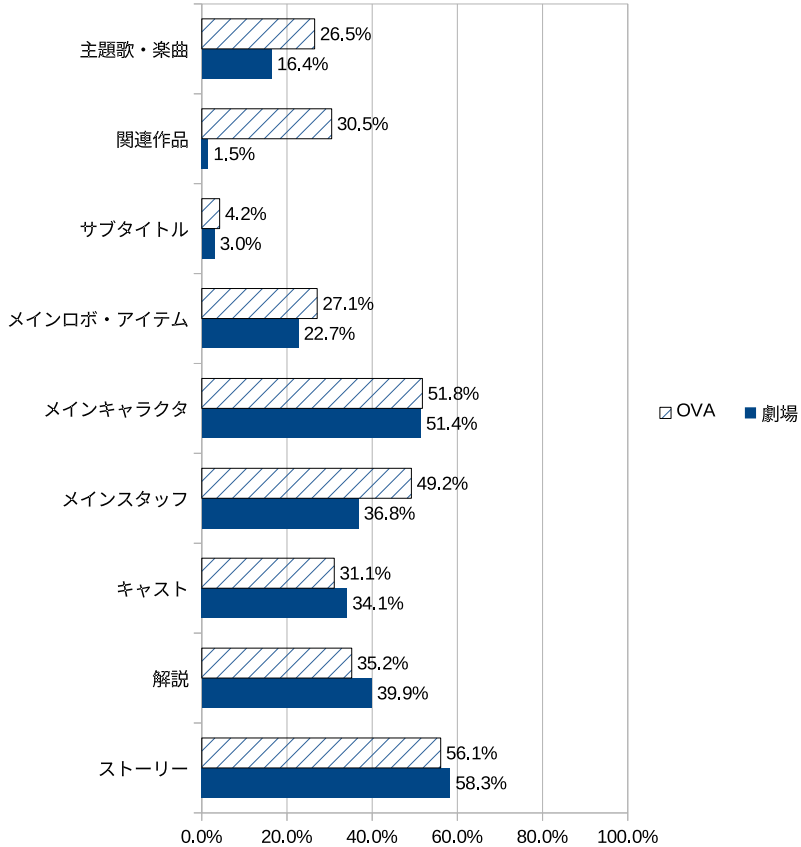


図 2.5 OVA/劇場の詳細情報各項目の網羅率

2.3 情報源

作品ページの作品基本情報の見出しには、大括弧で「事務局独自調査」と「監修済み」という 2 通りのラベルが示されている。メタデータの来歴を判別できる情報の一つであるが、「監修済み」は何を意味しているのか不明瞭である。日本動画協会事務局とは別のメタデータ作成者あるいは情報提供者が存在し、そこから得られたメタデータを事務局が監修し、データベースに記録しているということだろうか。「事務局独自調査」と「監修済み」のそれぞれの作品数を集計してみると、以下の 2 作品のみ「監修済み」であり、

表 2.3 ストーリー/解説の情報源毎の作品数

情報源	ストーリー	解説
日本アニメーション映画史	198	166
劇場アニメ 70 年史	1	2
バンダイチャンネル	316	321
d アニメストア	38	52
Amazon	51	136

それ以外はすべて「事務局独自調査」であった。

- 『Office.』(監督 橋本怜弥、公開日不明)*¹
- 『太郎の番兵』(監督 北山清太郎、1918 年)*²
 - 解説の出典には「『日本アニメーション映画史』山口且訓・渡辺泰共著、プラネット編 P193」と記載がある

一方で、作品詳細情報の見出しには同様のラベルは示されておらず、解説やストーリーなど各項目内のテキストとして「出典：日本アニメーション映画史 P197」「※バンダイチャンネルより引用」のように情報源が記述されているものがある。フリーテキストで記入されているため、厳密に集計するには相当な手間がかかるため、いくつかの情報源をピックアップし、使用作品数を簡易的に集計したものを表 2.3 に示す。なお、情報源の一覧は「このサイトについて」ページ*³に一覧がある。本誌の読者にとってはよく見慣れた書籍などが並んでいるのではないだろうか。

*¹ <https://db.animedb.jp/index.php/searchdata/?mode=view&id=100075>

*² <https://db.animedb.jp/index.php/searchdata/?mode=view&id=20138>

*³ <https://animedb.jp/about#data>

あとがき

いつもお読みいただきありがとうございます。コミケ当日に日付が変わった今、これを書いています。AniMetadata で初めて表紙にそれらしいイラストを入れてみました。絵師は Stable Diffusion XL 1.0 様です。本当に最近の画像生成 AI はすごすぎます。

アニメ大全をお題にしましたが、サイトの公開からまもなく1年が経過します。一過性の話題で終わってしまうのももったいないですし、事業としては継続されていますので、当サークルとしては引き続きウォッチしていきたいと考えています。アニメ作品のメタデータの持続的な整備・流通を考える上で、業界との接続は必ず考える必要がありますから、今後のアニメ大全がその役割を担うだけの実力を伴うようになるのか気になるところです。今回、統計だけではなく、他のデータベースとアニメ大全のデータをマッチングしてみたりしようかと思ったのですが、あまりに露骨な結果が出たら流石に怒られそうですので、思いとどまりました（笑）

AniMetadata Vol.5

2023年 8月 13日 初版

著 者 ばびぶべぼん
発 行 ばびぶべぼ研究室
lab@babibubebo.org
<https://babibubebo.org/lab/>

印刷・製本 自宅

ISDN 278-4-663011-10-5



ばびぶべぼ研究室

